

政務活動費調査研究報告書

会派名 新生・市民クラブ

氏名 大塚正俊

日 程	令和 5 年 10 月 16 日（月）午後 1 時 30 分～3 時 30 分
場 所	兵庫県三木市役所
相 手 方	三木市縁結び課縁結び係；肥田木係長、藤原主事 交通政策課交通政策係；藤原主事、最所主任
参加議員 氏 名	大塚正俊、千木良孝之、須賀要子、木佐貫佳子
目 的	三木市の縁結び課やデマンド型交通の取り組みについて現地調査 を行い、婚活支援やデマンドバスの導入のあり方を探る。
内 容	<p>◇三木市は、高齢化が進むニュータウン世代の人口が多く、それ とは逆に生産年齢人口は少なくなっています。また、近年では少 子化が進行し、未婚率が高くなっています。行政面積；176.51 km²、人口；72,892 人。</p> <p>■視察概要</p> <p>1. 縁結び課の取り組みについて</p> <p>(1) みきで愛サポートセンターについて</p> <p>①みきで愛サポートセンターの詳細、各事業実績</p> <p>②マッチングの方法、R4 年度のセンターを利用した方の成婚 数、登録者数（男女別）、会員登録費用、対象年齢、市の職員の 会員登録者数、相談に来る方のための部屋の確保</p> <p>③出会いサポーター（市民ボランティア）登録状況、年齢構成</p> <p>④みきで愛(出会い)サポートセンターのメールマガジン登録者 数（男女別）</p> <p>⑤みきで愛（出会い）サポートセンターの委託業者選定方針と 指定管理委託料⇒直営で実施</p> <p>(2) 縁結び課について</p> <p>①担当課ができる前までの経過と効果</p> <p>②縁結び課の人数と日々の活動⇒サポーターが中心に活動</p> <p>③縁結び課という呼称の発案者は⇒市長と担当者</p> <p>(3) 若者や子育て世代の定住移住策について</p> <p>2. 「チョイソコみき」デマンド型交通の状況について</p> <p>①チョイソコみきの運営主体と運行委託先、委託料（補助金）</p>

	<p>は、R4 年度年間利用者数（過去 3 年間の推移）と利用者の評価</p> <p>②ニコパカードのご利用で、市内間移動のバス運賃の上限が原則として一律 200 円（超過分は市が補填）となるが、チョイソコみき 300 円との整合は。</p> <p>③路線バスの停留所までの移動が困難な方については、チョイソコみきの乗車地及び降車地の両方が幹線エリア内でも利用できるようになったそうですが、路線バス事業者との協議はどのようにされたのか。</p> <p>④市内 4 地域にある三木市地域ふれあいバスとチョイソコみきの位置づけの違い。ふれあいバスに対する市の補助金。吉川地区を選定した理由</p> <p>■説明資料（別紙参照）</p> <p>①行政視察資料（三木市縁結び課）</p> <p>②行政視察資料（三木市交通政策課）</p>
<p>成 果</p>	<p>三木市では、合計特殊出生率が 1.22 と低く、未婚率の上昇に対処するため、縁結び課を設置して婚活事業を推進しています。パーティ部門での成婚者は 13 組（H13 年以降累計）に対して、お見合い部門での成婚者は 131 組（H20 年以降累計）となっており、中津市が実施しているパーティによる成婚は効果が低いことは分かりました。今後は、相談したい人が市に登録して担当サポーターがお見合い等を行い、成婚まで相談に乗るシステムを取り入れていきたいと考えます。</p> <p>また、デマンド型交通では、民間バス路線との競合がネックとなり、導入できていないのが中津市の現状です。バス停から半径 300 m 以内を路線バスの乗客エリアと設定し、それ以上離れている場所からの乗降者をチョイソコみきの守備範囲と設定し、交通事業者と調整している点は参考となりました。また、高齢者等は 300m を歩くのにも支障があるため、例外として対象範囲としている点も合理的な判断と言えます。</p> <p>また、「デマンド型交通運行補助金」として運行に係る運行経費から運賃収入を差し引いた損失部分を運行事業者に補助しており、補助額は R3 年度 16,694 千円、R4 年度は 14,910 千円となっています。補助金額については、デマンド型交通の運行開始前のコミュニティバス「よかたんバス」への補助額（R2）と比べ、約 28% の削減が図られています。三光地区のデマンドタクシーの運行補助金の積算方法の見直しとコミュニティバスから全市的なデマンド型交通への転換を求めています。</p>